令和3年度

ポニーの会　事業計画

１　はじめに

　令和２年から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大は全国に広がり、令和３年度になってもコロナウイルスとの戦いは続きそうです。ポニーの家の生活も感染対策のため大きく変化をしてきました。色々なことが制限される中、いかに利用者さんの生活に生きがいを見出すことができるかをテーマに令和３年度の事業計画を作成しました。

又、令和２年度に人事考課制度設計、人事考課表策定、考課者研修を行ってきました。令和３年度においては、新たな人事評価制度を活用して職員の人材育成に尽力していきます。

龍ヶ崎市松葉一丁目に購入した土地活用や懸案事項として、旧棟の雨漏り修理、ケアホームのデッキ修理などに取り組む必要がありますが、コロナ禍で事業収入の減少が予想されますので、これらの課題については後期にもう一度考慮していきます。

2.　事業方針

2-1　基本方針

障害のある方が地域生活や社会活動を行うことを支援し、すべての人々が共に良い人生をおくれるよう、利用者の視点に立って運営する。

2-2　重点推進項目

1. 人事考課制度を活用して職員の人材育成に尽力する。

各職員が法人の目標達成に貢献できるような個人目標を立て、その目標達成に向けて努力することで職員が成長していけるような組織づくりをする。

1. 事業の安定を図る

経費支出を見直し削減できる経費は削減し、更に事業収入の安定を図る為現在定員数に満たない部分の利用を埋める努力をする。利用者の方々が今後も継続してポニーの家を利用して下さるようサービスの向上に努める。

3.　事業別事業計画

3-1　ポニーの家多機能

全体目標

利用者一人一人が生きがいを持ち楽しくポニーに通い、日々を過ごせるように支援する。

【生活介護】

目標

・健康面に留意しながら作業や余暇活動を通して、毎日を心豊かに過ごせるよう支援する。

基本方針

・利用者の個性や能力を引き出し、適性にあった作業を提供し、日々の生活に充実感を持てるように支援していく。作業以外の余暇活動においても各利用者が能力に応じて活動を楽しめるように支援していく。また機能訓練指導員(PT、OT、ST)の指導のもと、各利用者に無理のない範囲で身体機能の維持・向上に努めていく。

サービス内容

・利用者の状況に応じて生活や活動に関する必要な日常生活上の個別支援を提供する。

・創作活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な支援をする。よりきめ細やかな支援ができるよう活動班を少数グループに分け、各班のレベルに応じた活動内容・支援の提供を行っていく。

・各作業では、それぞれの持っている力を十分に発揮できるよう多様な支援方法を考え、提供していく。

・利用者が自分自身の生きがいを持ち、楽しく通所していけるよう日々の関わりを大切にしていく。

・機能訓練指導員の指導のもと余暇時間を活用し利用者の健康維持に努め支援していく。

・新型コロナウイルス感染防止のため、手洗い・消毒・検温の実施、必要箇所・道具の消毒、換気の徹底を実施していき、利用者が安心して通所できる環境を整えていく。

作業別支援目標

内職：健康面に留意し、利用者の能力に合った作業を提供していく。また、利用者が安心して過ごせるようにしていく。

農業：季節に合った作物を育て季節を感じられるように支援していく。（春：土つくり、種まき　夏：ナス、キュウリ、トマト等　秋：さつまいも　冬：小松菜、ネギ、かぶ等）また育てる過程から収穫の喜びを味わえるように支援していく。

クッキー・パン：衛生観念を育み、自分たちの手で商品を作りあげていく喜びを味わえるように支援していく。

手工芸：季節やイベントにあわせた商品を作り、四季を感じながら作業に取り組み、楽しみや達成感を提供していけるように支援していく。

ポニー売店(きまま・菓子袋詰め)：施設内での社会参加の模擬体験を通して、社会のマナーを身につけていけるように支援する。

【就労移行支援】

目標

・利用者の強みや適性を見極め、就労に必要なスキルを身につけられるように支援する。

基本方針

・就労を目指す利用者に生産活動などの機会を提供し、一人一人の強み及び適性を見極め就労につなげていけるように支援する。

サービス内容

・生産活動を通して就労に必要な能力(体力、集中力、継続性、コミュニケーション能力など)を身につけられるように支援する。

・3カ月ごとのモニタリングを通して、目標を達成できているかご本人と面談をして認識・確認をし、次のステップに移行できるように支援する。

【就労継続支援B型】

目標

・生産性を維持し、適性に合った作業で安定した能力を発揮できるように支援する。

基本方針

・菓子製造、カフェ、外部清掃など各作業での生産性を維持し、利用者の適正に応じて安定した能力が発揮できるよう、精神面や体調面に配慮して支援する。また、カフェでの作業においては各利用者のレベルや希望に応じたスキルアップを図っていけるように支援する。

サービス内容

・個々の強みを引き出せるようによく観察をし、能力や適性にあった作業を見極め提供していく。また、働く意欲や希望を尊重し、利用者の気持ちに寄り添い、精神面や体調面の変化を見逃さないように支援する。

・能力向上とともに工賃向上に繋げていく。そして、県の平均工賃を上回れるようになる。

・日常生活や作業において、利用者同士が仲間としての意識を持ち円滑に進められるようにコミュニケーションや関係づくりの構築を目指していく。

・日々、菓子製造、カフェ、外部清掃と3つに別れて作業を行うため、関わる支援員との連携を強化していく。

・各作業において危険や怪我がないよう安心安全な環境を整える。

【ポニーの家多機能　授産】

・生活介護

　内職…受託のチラシ入れ等の作業に加え、現在軌道に乗りつつある牛乳パックの椅子と封筒作りを継続しておこなっていく。外的要因による受託の減少に対処できるよう自社製品の候補及び開発に力を入れていく。

　農業…支援目標に準ずる

　パン…従来の作業量を維持しながら、安全で効率のよい作業方法を探す。

　クッキー…より多くの品物を生産できるように組み立てを考えていく。作業手順の見直しや道具や材料の置き場所を見直し、効率よく作業が出来る環境にする。

　売店（ポニー売店・お菓子入れ・きまま）…支援目標に準ずる

・就労移行

　クリーン（高須体育館・高蔵寺）…支援目標準ずる

・就労継続B

　菓子製造…売り上げを伸ばすために、生産量を増やすように作業の構成を考えていく。

　クリーン（外部清掃・桜が丘自治会館、集会所）…現在より清掃場所が減るが、委託先や受注者が満足できるように清掃作業をおこなっていく。

　カフェ…売り上げアップのために、新メニューやイベント、キャンペーン等を考え実施していく。月額目標75万円以上とする。

3-2　ポニーの家生活介護

目標

・身体機能の維持・向上に努め、一人ひとりの個性や想いを大切にしながら地域の中で生活できるよう支援していく

基本方針

・常時介護が必要な利用者に対し、安心した楽しい時間が過ごせる様、食事や排せつ等の日常生活の支援を丁寧に行い、創作活動や生産活動の機会も提供する。

又機能訓練指導員（PT、OT、ST）の指導のもと利用者に沿ったより効果的なリハビリテーションを提供し、健康状態を良好に保てるよう必要な援助を行う。

サービス内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 部門 | 内容 | 目標 |
| 箸作業 | 内職（アオトプラス）箸・ペーパースプーン・フォーク等、おしぼりガーデニング、外出、調理実習 | 個々の特性に合わせた作業を提供していく。また、余暇活動も取り入れて心身共に健やかに過ごせるようにする。 |
| ドルチェ | 理学療法士によるリハビリ、リズム・ストレッチ体操、微細運動、外出、調理実習、ガーデニング、ミュージックケア、洗車、創作バイタルチェック、歯科検診 | 身体の機能維持・向上に努めながら個々に合った充実した楽しい時間を過ごせるようにする |
| 製本印刷 | 名刺の受注作成、ハガキ印刷、文章打ち込み、カレンダー、写真印刷 | 個々の能力に合った作業を提供し、安定して取り組めるよう支援する11/1-15（カレンダー見本作成開始・確認）11/15~（年賀状・カレンダー注文開始）～12/10（カレンダー仕上げ）12/20～（カレンダー引渡し） |
| 未来工房 | ボールペン封入（株式会社ABM）厨房手伝い（野菜皮むき・精米）、ペットボトル回収・処理、荷物運搬、ダンボール梱包・処理、お花の水やり、シュレッダー、ウォーキング、ストレッチ、軽運動※今年度、畑作業はボールペン受注量が安定して頂けているため無し | 一人ひとりの個性を大切にしながらスモールステップで日常生活の向上を目指していく |

3-3　各種事業共通

1. 創作活動・文化的活動・クラブ活動・レクリエーション・健康管理
	1. 創作活動

|  |  |
| --- | --- |
| ミュージックベル・創作活動・絵画・音楽・フラワーアレンジメント・学習（文章講座） | 能力に応じ創作意欲が持てるよう支援する様々な活動に参加し、他利用者や職員と関わりを持ちながら楽しみを持って取り組んでいくよう支援していく。 |

* 1. 文化活動

|  |  |
| --- | --- |
| 交流会　ＤＶＤ鑑賞　その他 | 各活動に参加しながら、それぞれが情緒の安定を図れるよう支援していく。 |

* 1. クラブ活動

|  |  |
| --- | --- |
| 放送クラブ、新聞クラブ、ウォーキングクラブ、音楽クラブスポーツクラブ、ダンスクラブ、アートクラブ | 一人ひとりの興味や関心を大切にしながら、それぞれ所属するクラブ活動において自分の力を発揮できるようにしていく。 |

　　　④健康管理

　　　　　3月：内科検診　6月：レントゲン　11月：インフルエンザ予防接種

年間４回：バイタルチェック・体重測定

【２】イベント・年間行事

　　　年間イベント･行事予定

　　　　4/1：入所式　　9月：フェスティバル　10月：遠足（小グループ）

12月：芸術祭in取手　　２月：交流会

3-4　共同生活援助（介護包括型）ケアホーム夢未来

＜令和3年度目標＞

利用者の健康状態に留意し一人ひとりに合わせた支援を提供していく

＜夢目標＞安心して過ごせるように環境を整え、活気溢れた毎日にする。

＜未来目標＞みんなで協力しあいながらこころ安らぐ日常生活を送れるようにする

基本方針

・自立を目指し、地域で安心して暮らしていきたいという利用者に対し、食事の提供、健康管理、入浴支援、日常生活及び日中活動に関する相談など必要な支援を行い、日常生活能力の維持・向上を目指す。

≪利用者≫

3-5　特定相談支援事業部門（キャンディ）

＜令和3年度目標＞

　　　・利用者の希望を実現するために、ご本人を含めた支援チームの連携を強化する。キャンディはその中心となり、チームが力を発揮できるよう調整を行なう。

基本方針

・利用者一人一人が望む生活に近づけるよう関係機関と連携して支援を行なっていく。

　サービス内容

　　現在利用中の110名（ポニーの家利用者69名、それ以外41名）に対して定期的なモニタリング、支援会議の実施を行ない、目標達成や抱えている生活上の問題の解決に向けて利用者に寄り添い歩んでいく。

 令和3年度はコロナ禍にあり、事業所への訪問や支援会議の開催が困難になることが予測される。その中で、利用者の状況を把握し適切な支援に結び付けていくためには、これまで以上にご本人と関係者が連携を強めていく必要がある。タブレット（メッセージやテレビ電話）なども活用し、日頃からこまめに連絡を取り合いご本人の変化に気づき、介入のタイミングを見逃さない。限られた機会で的確に介入できるよう、知識と情報を蓄えネットワークを構築しておく。

　　障害福祉分野に留まらず、高齢福祉・児童福祉の関係機関とも連携を図り、利用者の幅広い生活課題に対応する。

　　また自立支援協議会、取手市障害福祉計画策定委員会の委員として、地域福祉に貢献していく。

以上